

第一・第二中学校区 適正化推進委員会たより No.3

令和3年1月 発行
沼津市教育委員会事務局 教育企画課
所在地：沼津市御幸町16-1
TEL：055-934-4821
E-mail：kyouiku-ki@city.numazu.lg.jp

日頃より本市の教育行政に御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。
今回のたよりでは、11月30日（月）に開催した保護者説明会の報告と、12月初旬
に実施した保護者意識調査の結果を中心にお知らせします。



第一・第二中学校区の適正化に関する保護者説明会（参加者：132名）

【説明内容】

- ・沼津市内及び第一・第二中学校区の児童生徒数の現状と今後の推移
- ・小中それぞれの統合により適正化を進めていくことの確認
- ・統合先として考えられる第一小学校と千本小学校、第一中学校と第二中学校の学校施設の状況（津波や洪水による災害のリスク、校舎等の状況、教室数の過不足、通学距離など）

【主な質問や意見】

- ・通学について
 - 「通学距離や時間が長くなるのが心配」
 - 「隣接する学校を選択することはできないのか」
- ・津波による災害リスクについて
 - 「統合先の学校施設を選ぶ際に災害リスクは考慮しないということはどういうことか」
 - 「海に近い学校に統合されることは不安である」
- ・学級の人数や教職員定数について
 - 「1クラスの人数が多くなることで、学力が低下したり教職員の負担が増えたりするのではないか」
 - 「市独自で教職員を増員したり少人数学級を実現したりすることはできないのか」
- ・その他
 - 「拙速な判断は行わず、さらなる説明会や議論が必要である」 など

保護者意識調査（Webアンケート）

【期 間】12月1日（火）から8日（火）までの8日間

【対 象】第一・第二中学校区5校の保護者及び、第一・第二中学校区在住の未就学児保護者

【考え方】小学校3校の統合と中学校2校の統合により、学校規模・学校配置の適正化を早期に実現し、子供たちにとってよりよい教育環境の整備と教育の質の更なる充実を図る

- ・小学校3校を第一小学校で統合する
- ・中学校2校を第一中学校又は第二中学校のいずれかで統合する
- ・統合年度は、最短で令和5年度の見込みである
- ・小学校のみの統合や中学校のみの統合、小中で時期をずらした統合は行わない
- ・小中5校を1校に集め小中一貫校化する案は、選択肢から除外する

【結果概要】

1 学校統合への期待・心配や不安

第一中学校区
小中保護者
回答数 149

第二中学校区
小中保護者
回答数 107

第一中学校区
未就学児保護者
回答数 37

第二中学校区
未就学児保護者
回答数 28

	第一中学校区 小中保護者 回答数 149	第二中学校区 小中保護者 回答数 107	第一中学校区 未就学児保護者 回答数 37	第二中学校区 未就学児保護者 回答数 28
(1) 期待	☐	☐	☐-M	☐-M
友達が増える	2位	2位	1位	1位
毎年クラス替えができる			2位	
部活動やクラブ活動	1位	1位		2位
(2) 心配や不安	☐	☐	☐-M	☐-M
子供同士の人間関係	1位	2位	2位	2位
通学（距離・時間・方法など）	2位	1位	1位	1位

※ 上位2位まで掲載しています。（黄色は50%以上が選択 ピンクは70%以上が選択）

2 小学校3校を第一小で統合することへの心配や不安（多かった記述）

☐・☐-M 1クラスの人数が増えることで教育の質が低下するのではないかと心配。

☐・☐-M 通学の時間や距離が長くなることに対する負担や通学の安全が心配である。

3 中学校2校を第一中又は第二中で統合することへの期待・心配や不安

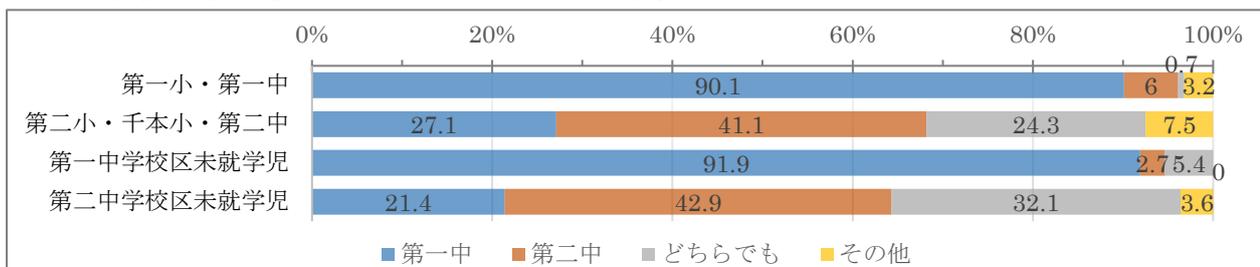
(1) 第一中で統合することへの期待	一	二	一M	二M
学校行事	2位	2位	2位	2位
部活動	1位	1位	1位	1位
受験				2位

(2) 第一中で統合することへの心配や不安	一	二	一M	二M
通学（距離・時間・方法など）		1位	1位	1位
学校の施設や設備	1位		2位	

(3) 第二中で統合することへの期待	一	二	一M	二M
学校行事	2位		2位	2位
部活動	1位	1位	1位	1位
通学（距離・時間・方法など）		2位		

(4) 第二中で統合することへの心配や不安	一	二	一M	二M
通学（距離・時間・方法など）	1位		1位	
学校の施設や設備	2位	1位	2位	1位

4 中学校2校の統合先として適当と思う学校



5 適正化に関する意見（多かった記述）

【一・一M】

- ・災害リスクを統合先選択の際に考慮しないという考え方については、反対である。
- ・津波に対する心理的な不安や海に近い学校で統合することへの抵抗感は拭えない。
- ・統合により1クラスの人数が増えると教育の質が低下するのではないか。

【二・二M】

- ・通学時間が長くなることへの対応（スクールバスや自転車通学など）を求める。
- ・早期の適正化を望む。

保護者意識調査の結果はこちらでも公開しています。



今後の取組

12月17日（木）、第3回の推進委員会を開催しました。会議では、保護者説明会と保護者意識調査の結果を報告し、多くの方が不安や心配に感じていることについて、それぞれの立場から御意見をいただきました。

教育委員会では、推進委員会での協議内容や説明会での質疑、意識調査の結果などの保護者や地域の皆様の不安や心配、意見や要望、市役所内の関係各課による様々な角度からの検討などを踏まえ、早期に適正化の方針を決定したいと考えています。

- ※適正化の方針は、児童生徒の教育環境を最優先に、統合時期や施設設備の状況、統合による影響、経費など、様々なことを比較検討しながら決定します。
- ※バス利用などの通学方法や登下校の安全についても協議を進めていきます。
- ※1学級あたりの児童生徒数については、法令や県の制度によって決まります。
- ※統合により学級数が増えることで、それに比例して教職員も増えることから、教科指導の充実や危機管理体制の充実、教職員の年齢層の偏りの解消などにつながることを期待できます。

お気づきの点や御意見等がありましたら、教育企画課まで御連絡ください。

沼津市教育委員会の「学校規模・学校配置の適正化」に関する取組はこちら⇒

